

転送・転載歓迎

平成23年3月11日14：46頃発生した東北太平洋沖地震災害について、新しい公共をつくる市民キャビネット災害支援部会は全国のNPOと協働して支援体制を整え、活動を開始しています。

人命第1を基本に現地での協働体制を築いていきたいと思います。

公開可能な支援取り組みをぜひお知らせください。

このメルマガは、状況により臨時に配信します。なお、市民キャビネット災害支援部会メンバーリストは常時動いていますので、そちらにも登録させていただきます。

【報告】14日18：00からの総務運営委員会の結果、内閣総理大臣補佐官（災害ボランティア担当）辻元清美様、民主党 幹事長 岡田克也様宛下記3点について、要望書を提出した。

1. 災害支援ボランティアへの高速道路等の通行証を発行
2. 被災地入口で検問を実施し、災害支援ボランティアによる全国の高速道路無料化
3. 支援活動への優先的な燃料の提供

【報告】全日本救助犬団体協議会

認定特定非営利活動法人日本レスキュー協会（3人、3頭）3月15日（月）9：28 岩手県九戸郡野田村で捜索活動。

11：45 野田村で捜索活動を行っていたが、重機が入り復興作業になった為、

救助犬での行方不明者の捜索活動は終了。岩手県対策本部へ戻り、新たな捜索現場を検討。

16：10 大船渡市で捜索している大阪市消防と合流する為、大船渡市に向かっていたが、大船渡市には既に多数の救助犬が居る為に急遽中止。

明朝8：30から大阪府下の消防と合同で生存者が発見された岩手県大槌町の捜索にあたる予定。

特定非営利活動法人日本捜索救助犬協会（4人、6頭）と九州救助犬協会（6人、6頭）は九州の自衛隊に同行し、気仙沼市 田中地区を巡回。生存者は津波の避難で2階以上におられる方が多いので重点的に捜索したが捜索は壊滅的で生存者を発見するにいたらず。

遺体収容多数

特定非営利活動法人沖縄災害救助犬協会（5人、3頭）は、岩手県大槌町に向かい、特定非営利活動法人日本レスキュー協会と合流予定。

特定非営利活動法人北海道ボランティアドッグの会は出動準備を完了した。

【報告】被災地NGO協働センター 先遣隊として12日～13日、宮城県名取市で活動した吉椿が、名取市で聞いた被災者の声を届けてきました。

吉椿のレポート（3月13日の名取市の様子）

■閑上地区の人々の避難する名取市第一中学校。閑上地区の人々は、地震発生直後、すぐ近くの公民館へと避難したが、危険だと言う事ですぐに閑上中学へと移動した。だが、その後すぐに小学校へと再び移動したという。閑上小学校では、次の津波を警戒して、すでに名取市街地のいくつかの避難所へとまた避難した。

Aさんは、着の身着のまま避難して、小学校に避難する際に津波でびしょ濡れになったそうだ。たまたま避難した教室が校長室だったのでそこにあったジャージに着替え、カーテンを毛布代わりにして包まって寝たという。当然、丸1日水も食料も口にする事はなかった。新しい避難所に移ってからも毛布不足のため、救援物資の服をもらい着込んで寝たそうだ。

■名取市の各避難所には張り紙が沢山張ってある。「〇〇さん、〇〇に避難しているから安心して!」、「〇〇さん、無事です。」など安否確認の伝言板だ。被災地では未だ電気も不通で、携帯も規制がかかっている為、ほとんど通じない。また、避難所の学校の各教室には20人から30人が身を寄せ合って過ごしている。

教室の前に張られた避難者名簿をじっと見つめる男性（30代）の男性に声を掛けた。「誰か探しているんですか?」、「親父の行方が分からなくて。俺は仕事に行ってたから。。」と言って、すべての教室を回っていた。「親父を探して車であちこち避難所を回ってるんです。。」と目を赤くしていた。だが、閑上の人々は車も流されて、避難所に家族を探しに行く足さえもない。

■名取市第一中学校。南棟に多くの人が暮らしている。一階には5つのクラスがあり、3階まであり、一クラス20人から30人が暮らしているのだが、3階の使われていない教室にたった一人しゃがみこんでいる女性を見かけた。「大丈夫ですか?」と声をかけると「大丈夫です。」と力のない返事だった。「皆と一緒にいたくないの?」と返すと「うん。」とだけうなづいた。きっと行方不明の家族を想って、ひとり悲しみに暮れていたのだろう。

避難所は今、まだ水や食料が不足し、緊張状態にある。悲しみ浸る余裕すらないのであろう。これからそんな悲しみ、痛みの波が襲ってくるだろう。そんな人々に全国のひとつひとつが、どう寄り添っていくかが問われている。

【ボランティア募集】 <http://citycabinet.npgo.jp/> 参照

以下のボランティアから希望を記載の上、メールください。

「輸送隊」

支援物資の輸送。車、免許を持っている方歓迎。支援物資の受け入れ、仕分け。基地は埼玉県浦和・大久保合同庁舎

「カメラ隊」

カメラ撮影（ビデオカメラ2台 NP0 埼玉ネットにあり。プロ仕様）、持ち込みカメラ、データ管理、You Tube 等 Up

「募金隊」

募金募集、チラシ作製、情報伝達。各地で、独自に開始されてかまいません。とりまとめて、送金ください。(http://citycabinet.nngo.jp/ の情報をお使いください。)

「広報隊」

ホームページ管理、情報発信（メルマガ、メーリングリスト等）、マスコミ係。埼玉 NPO ハウス
「救援出動隊」

経験ある方歓迎。組織的にチームが作れる方歓迎、防災士の資格がある方歓迎。リーダーとともに現地入りするスタッフ。寝袋等自己完結出来る装備を準備ください。

埼玉県浦和・大久保合同庁舎 5階埼玉 NPO ハウスで、宿泊することも考えられます。寝袋等自己完結出来る装備を準備ください。

【支援物資の募集】

【提供希望品：毛布（新品の毛布、もしくは洗濯済みの清潔な毛布）】

送付・お届け先及び時間

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保 519 番地 1 埼玉県浦和・大久保合同庁舎
1号館 埼玉NPOハウス

TEL 048-714-0501・FAX 048-714-0509

午前9時～午後6時

附記

毛布はご持参もしくは直接上記埼玉NPOハウス事務局にご持参下さい。

毛布を被災地にお送りする送料として毛布1枚につき1,000円のご支援をお願いします。

毛布は順次被災地に本団体より御送りさせていただきます。

【支援金の募集】

支援物資の調達、ヘリの燃料、救助犬移送等ボランティアでの活動となっております。活動資金の寄付をお願いします。送金先は

（送金先） 埼玉りそな銀行 宮原支店普通預金口座 4181235 トクヒ）エヌピーオーサ
イタマネット

です。出動団体に配布しますので、ご協力をお願いします。

各地の団体が独自に募金活動を開始していただいております。

【状況】

市民キャビネット災害支援部会は現在松尾道夫自宅（東松山）にあります。

16日9:00〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保 519 番地 1 埼玉県浦和・大久保合同庁舎
1号館に「東北太平洋沖地震支援センター」を移動します。

現地からの報告を、「東北太平洋沖地震支援センター」で受け、インターネット・ラジオ放送を行
います。

TEL 048-714-0501・FAX 048-714-0509

090-6319-7090（緊急用です）

情報はこのメールに返信ください